

令和2年12月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和2年12月分について、輸出は「鉄道用車両」などが減少したものの、「自動車」、「鉄鋼」などが増加したことから対前年同月比13.2%の増加となった。また、輸入は「果実」などが増加したものの、「航空機類」、「自動車」などが減少したことから、同5.2%の減少となった。

その結果、差引額は1,079億円（同30.3%の増加）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	1,812億円	+13.2%	734億円	▲5.2%	1,079億円	+30.3%
	4カ月連続の増加		2カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1)自動車	1,716億円	+13.2%	輸入	増加品目	(1)果実	14億円	29倍	
		(2)鉄鋼	36億円	+149.4%			(2)とうもろこし	5億円	+78.7%	
		(3)金属鉱及びくず	8億円	+68.9%			(3)電気計測機器	0億円	全増	
	減少品目	(1)鉄道用車両	—	全減		減少品目	(1)航空機類	—	全減	
		(2)石油製品	8億円	▲23.9%			(2)自動車	671億円	▲2.0%	
		(3)その他の化学製品	19億円	▲10.4%			(3)魚介類及び同調製品	2億円	▲54.7%	
	地域別動向		北米、中南米が増加、西欧は減少			地域別動向	西欧、北米が減少、中東欧・ロシア等は増加			

（参考）ドルレートは、104.11円（前年同月比4.4%、4.84円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。